

かたの 市議会だより



平成25年
5 / 1

議会ニュース

平成25年度の予算決まる

一般会計・5特別会計・水道事業会計の各予算を可決



完成した第2別館と平成25年度にエレベーター設置と耐震工事を予定している別館

第2回議会報告会を開催

日時 平成25年5月19日（日） 午後2時から

場所 ゆうゆうセンター 4階 多目的ホール

くわしくは2ページをご覧ください。

目次

- 2 議会ニュース
- 3-7 一般質問
- 4-9 委員会審査のあらまし
- 10 議会で決めたこと

平成25年度予算を可決

一般会計・5特別会計・水道事業会計の各予算

本会議の動き

第1回議会定例会

今議会は、2月27日の本会議において、会期を3月27日までの29日間と決定し、開会され、始めに市政運営にあたり、市長が重要施策や予算について表明する市長の施政方針表明が行われました。

続いて、「人権擁護委員の推薦について」の諮問を適任とし、「専決処分事項報告について（和解及び損害賠償の額の決定）」の報告を受けた後、副市長の選任に同意し、「交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会条例の制定について」等28議案を満場一致で可決しました。

また、「交野市産業振興基本条例の制定について」ほか3議案を総務文教常任委員会に、5特別会計予算など11議案を都市環境福祉

常任委員会に付託し、続いて「予算特別委員会の設置について」を可決した後、「平成25年度交野市一般会計予算について」を同委員会に付託しました。

7日～11日には、市政全般に対する一般質問（3～7ページ参照）を行いました。

最終日27日には、交野市住宅リフォーム助成条例の制定についての撤回が許可され、その後、予算特別委員会及び2常任委員会から付託案件の審査報告が行われた後、採決を行い、すべての議案が可決されました。最後に意見書2本を可決した後、「議員の派遣について」を決定し、また、閉会中に開催した都市環境福祉常任委員会の報告を同委員会委員長より受け、今議会は閉会しました。

議会トピックス

第2回議会報告会を開催

市議会では、開かれた議会を目指し、第2回議会報告会を5月19日（日）に下記のとおり開催いたします。

当日の報告内容につきましては、市議会の動きなどについて報告を行う予定ですが、第1回報告会でのアンケートを参考に検討しております。どなたでもご来場いただけますので、ぜひお越しください。当日は、手話通訳及び要約筆記があります。

記

- ・日時：平成25年5月19日（日） 午後2時から
- ・場所：保健福祉総合センター（ゆうゆうセンター）
4階 多目的ホール



第1回議会報告会のようす

市民ががやき クラブ

野口 陽輔・久保田 哲
黒田 実

将来の都市計画について

ほか

問 施政方針において、都市の基盤整備の個々の取り組みについて述べられているが、第二京阪道路の開通によって交野のまちの姿が大きく変化している状況や人口減少・少子高齢化などの社会・経済情勢の変化も踏まえ、行政として、どのようなまちづくりを考えているのか。

答 まちづくりの方向性としては、自然環境や歴史的資源を生かした魅力ある永住都市を形成するという考え方が変わるものではない。都市基盤としては、JR学研都市線及び京阪交野線の鉄道路線が整備されており、恵まれた環境である。一方で、道路交通では第二

京阪道路の開通による交通の利便性の向上により、交野は大阪の外れから今や近畿の中心に位置するまちになったと認識を改めているところであり、第二京阪道路を中心とした新しい交通ネットワークの形成が求められている。今後のまちづくりの方向としては、既存ストックを生かしつつ、鉄道駅周辺や第二京阪道路を



JR河内磐船駅

初めとする幹線道路沿道など、土地利用のポテンシャルの高い地域などについて、土地区画整理事業の手法などにより新市街地の形成を図るとともに既存市街地においては、さらなる永住魅力のあるまちづくりを推進していきたい。

災害時、避難者へ常備薬を提供する仕組みを

問 災害時、避難者へ避難食を提供する仕組みは進みつつあるが、避難者が常時服用している常備薬を避難所で提供できる仕組みを作るべきと考えるが、市の考えは。

答 日常的に薬を服用されている方が災害発生時に着のみのまま避難所に入られるケースも想定される。本市では、交野病院と医薬品の備蓄供給の協力に関する基本協定を締結し、流通備蓄方式により医薬品の備蓄を行っている。また、大阪府では、府薬剤師会や

府医薬品卸協同組合等と災害用医薬品等の供給に関する協定が締結されている。医薬品に関しては、個人の病状によって種類が様々であり、よく似た名前の薬でも効果が全く違うこともあるので、薬の正確な名称の把握や効果など、お薬手帳などで個人が把握し備えていただくことも必要である。また、避難所等において、実際に医薬品を配付する際には専門知識も必要であり、医師会や薬剤師会等との連携を図り、災害時における医薬品の供給体制を構築していく必要があると考える。今後、各組織、団体と検討を重ねていきたいと考えている。

その他の質問

- ・市民との協働について
- ・スポーツと文化の振興について
- ・健康増進計画について
- ・学校と地域行事の連携について

施政方針の教育行政について

会派無所属 坂本 顕

問 教師力の向上について？

答 日常的なOJT推進が重要であり、教員の組織的な育成に努めている。生徒指導や支援教育等の研修を通じ、児童生徒理解について見識を深めるよう向上に努めている。

問 「生きる力」の育成について。

答 例えば小学校での地域性を生かした体験的活動、中学校では「職場体験学習」を実施し、小中連携のキャリア教育推進を図ること、生き方について積極的に考え、生涯にわたり自己実現を図る能力が身につくよう努めたい。

その他の質問

- 子どもの読書活動推進について
- 全国で初めて「読書」を正規の授業とした江戸川区を参考にしているかどうか。

交星みんな クラブ

兼田 龍洋・浅田 耕一
前波 艶子

教育行政について

ほか

問 小学校から中学校へ進学する際に、不安やつまずきを感じる子どもがいる中で、義務教育の9年間の学びを一体のものとして捉え、一貫性、系統性のある教育の推進が求められているところであるが、本市における取り組みは。

答 これまで小学校と中学校のそれぞれが独自の教育方針に基づき、教育活動に取り組んできたところであるが、それが、子どもたちに不安やつまずきを感じさせていたものと考えている。これを受け、平成23年度から小中学校連携の取り組みを始めたところであるが、およそこの2年間で、教職員同士の連携、交流を深める

と共に情報の共有化が図られたこと、そして子どもたちにとっては中学校の授業体験やクラブ見学を通してより身近に感じられるなど意識の変化が生まれつつある。

問 施政方針において、青少年の健全な育成のための事業として、各種団体等と連携の上、災害体験キャンプやバリアフリー体験事業が実施されるとのことだが、これらの事業は具体的にどのようなものか。

答 これらの事業は市内の小学4年生から中学2年生までを対象とした、いわゆる交野市子どもプランに掲げる事業の1つである。まず、災害体験キャンプにつ

いては、子どもたちが実際に避難所生活を体験するものであり、同様にバリアフリー体験についても、車いすでの移動や、或いは介助など、体の不自由な人と同じ立場に立った疑似体験をするものである。これらの体験を通して命の大切さや、気遣い、優しさなどを気付かせるプログラムであり、今後も多くの子どもの参加意識を掻き立てるような魅力ある事業を展開していきたい。

公共施設の 利活用について

問 いきいきランドをはじめとする市内公共施設において、その稼働率にばらつきが見られるが、行財政改革の主要課題の1つとして公共施設の利活用に関する市としての取り組みは。

答 市内各施設に関して、ホームページ上で情報開示を行うなど、周知に努

める取り組みを推進している。特に、施設予約に関しては、交野市公共施設予約システムを導入するなど、利用者の利便性の向上に努めている。ただ、一部施設においては本システム上からの予約が出来ないなどの改善点もあり、公共施設マネジメント白書を導入し施設利活用に関する検証を行うことも手法としてあるが、現システムなどの利用者の視点にたった改善に取り組む、利用率の向上に努めたい。



公共施設であるいきいきランド交野

委員会審査のあらまし

総務文教常任委員会 （3月21日）

交野市産業振興基本条例
の制定など4議案を可決

議案第2号 交野市産業
振興基本条例の制定

▼概要 地域産業の振興に関する施策を協働により推進し、全市的な取り組みによる地域社会の発展に寄与することを目的に定めるもの。

▼結果 可決（満場一致）
議案第30号 交野市教育
センター設置条例の一部
改正

▼概要 交野市教育センターの位置を変更するもの。

▼結果 可決（満場一致）
議案第36号 平成24年度
交野市一般会計補正予算
（第6号）

▼概要 市役所別館耐震補強工事、消防救急デジタル無線設備整備、青年の家耐震診断等にかかる補正。

▼結果 可決（満場一致）

議案第42号 平成25年度
交野市公共用地先行取得
事業特別会計予算

▼概要 2億3949万8

日本共産党

坂野 光雄・中上さち子
皿海 ふみ

再生可能エネルギーの普及を ほか

問 再生可能エネルギーの地産地消が求められている。交野市の現状はどうか。

答 公共施設では、太陽光発電が総合体育施設の街路灯やゆうゆうセンターに設置され、市役所別館の増築庁舎や新給食センターに設置予定である。小水力発電は私市ポンプ場に導入予定である。民間住宅への太陽光発電設置は、市環境基本計画にて、10年後に全戸数の1割の3千軒を目標としている。

問 災害時の拠点施設への太陽光発電の設置計画は。

答 国において、再生可能エネルギー等導入推進基金事業が行われている。災害時に必要な施設を対象に、自立・分散型エネルギーの導入をめざすものである。

施設の耐震性を有すること
を条件とし、設置費用の10割が補助される。避難所で
の設置を検討したい。



屋上にソーラーパネルを設置した第2別館

保育所待機児童の解消を

問 昨年12月末の入所希望は393人。入所決定は296人である。市が4月から待機児と公表している数は13人であり、後のこどもが待機児として含まれないのは。

答 保育に欠ける状態とするのは一日6時間以上等の勤務。それ以下は入所基準を満たしておらず待機児童に含まれない。

要望 入所基準は他市並みに緩やかにすべきである。また、希望者が入所できるように公立保育所の増設を要望する。

生活保護切り下げは市民のくらしに影響

問 生保利用者だけでなく、年金や税、保険料等、低所得減免の制度にも影響する市の対応はどうか。

答 影響が明らかでないので対策ができない。

要望 影響する施策に就学援助制度がある、現行水準の維持を要望する。

少人数学級の拡充を

問 学校では、いじめや不登校など課題が多く、教員の多忙化も深刻である。子ども一人ひとりに目が行き届くよう、少人数学級の拡充が必要と考えるが。

答 現在、国府の措置で小

学1・2年で35人学級を実施している。少人数学級は児童・生徒の状況が把握しやすく、実態に即した柔軟な指導が可能になり、教員と児童・生徒の触れ合いが一層密になる利点もある。しかし、市独自での実施は財政負担が大きく、現在のところ予定していない。

要望 本来、国が少人数学級を推進するべきだが、市独自で取り組む自治体も増えており（枚方市、高槻市など）、交野市でもぜひ積極的にすすめてほしい。

公園の遊具について

要望 公園遊具の安全点検が実施されているが、使用禁止となった遊具の早急な補修・更新を求める。

その他の質問

- 一、公共施設の耐震化
- 一、ゆうゆうバスについて
- 一、水道事業の広域化
- 一、職員体制について
- 一、公共施設のトイレの洋式化

千円。前年度比較で4391万円増。
▼結果 可決（満場一致）

都市環境福祉常任委員会

（3月21日）

交野市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定など10議案を可決

議案第3号 交野市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

▼概要 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、対策本部の設置に関する必要事項を定めるもの。

▼結果 可決（賛成多数）

議案第17号 交野市指定地域密着型サービス事業者の指定並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

▼概要 介護保険法に基づく指定地域密着型サービス事業者の指定に関する基準等を定めるもの。

▼結果 可決（満場一致）

議案第18号 交野市指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定並びに指定地

自由民主党

松本 直高
片岡 弘子

施政方針について

ほか

会派で取組みました産業振興基本条例案が本議会に上程されている。関係各位の制定へのご尽力に感謝するとともに本市の産業振興策に期待する。

契約事務の適正化について とりわけ『随意契約』 について

問 水道局から所謂「3セク」に対して発注・調達している9業務のすべてが随意契約となっているが、他市では多くが競争入札等で行われており、今後どうするのか。

答 ご指摘のとおり、ほとんどの市が「入札」又は「プロポーザル」で契約していることから、一部は来年度からプロポーザル方式とし、他市と同様、競争性の

ある契約の推進の為、可能な限り競争入札の導入に取り組んで参ります。

問 適正手続の視点から、財務会計法規に照らして理由書や見積書の取扱いはどうか。

答 今後、随意契約をする場合、理由書の作成や見積書の徴収に加え、契約内容の公表等、必要な改正も行い、会計規程を遵守します。

問 契約事務の適正化は、水道局だけでなく、市全体を把握して取組むべきではないか。

答 全ての契約を把握しておらず、後日、状況を報告しますとともに、ご指摘のとおり、契約の公正や透明性確保の観点から、原則に立脚した運用に努め、ガイドラインの改定も含めて改

善して参りたいと考えております。

おりひめ大学について

問 交野の特色を活かしながら、出会いと学びを演出する仕組みとして「おりひめ大学」の開校が予定されているが、具体的にはどのようなものか。

答 重点的かつ特徴的な取り組みを示した市長戦略にも、地域資源などを大いに活かした市民学の構築を掲げており、それを具体化したものが、おりひめ大学である。つまり、交野の豊かな自然を含め、交野市全体を1つのキャンパスに見立て、既存の市の講座や教室だけでなく、素晴らしい特技や技術をもった方が、その特技や技術を伝える場などを大学の授業として展開していくものである。

小中連携教育について

要望 小学校から中学校へ進む中で、不登校や学習離



交野市産業PRキャラクター おりひめちゃん

れなどの課題が全国的にも問題視されている。これを受け、本市においても、発達段階に応じた連続した学びを実践するため、小中連携の取り組みが開始されたところである。既に取り組みを進められている自治体の例を見ると、ほぼ全ての自治体で大きな成果が見られるが、そこに至るまでには様々な課題が山積していたと聞き及ぶ。準備段階にある本市においても、交野市の教育現場に最も相応しい小中連携、或いは一体教育にかかる取り組みを検討、実践いただくことを要望する。

域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

▼概要 介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準等を定めるもの。

▼結果 可決（満場一致）

議案第27号 交野市下水道条例の一部改正

▼概要 排水施設の構造の技術上の基準等を定めるもの。

▼結果 可決（満場一致）

議案第33号 交野市国民健康保険条例の一部改正

▼概要 保険料の賦課限度額（49万円から51万円）等を改正するもの。

▼結果 可決（満場一致）

議案第39号 平成25年度交野市国民健康保険特別会計予算

▼概要 83億7612万2千円。前年度比較で2億9644万8千円増。

▼結果 可決（賛成多数）

議案第40号 平成25年度交野市下水道事業特別会計予算

公明党

三浦美代子・友井 健二
新 雅人

子育て支援について

ほか

問 預かり保育について、公立幼稚園の預かり保育の本格実施に向けて、今後の見通しは？また、病児保育の進捗状況は？

答 預かり保育については、早期実現を望まれる声が多く、保護者への周知も含め、今後取り組んでいく。病児保育は、開設に向けて市内の医療機関と協議を行っている。

要望 待機児童になった場合、認可外保育施設利用補助制度が心配なく利用されるよう周知を要望する。



預かり保育の実施が希望される公立幼稚園

健康福祉について

問 胃がんの90%はピロリ菌の感染による胃炎が原因でピロリ菌を排除すれば胃がんの発生を抑制することが可能であると政府も認めた。そこで、ピロリ菌検査を胃がん検診に追加してはどうか？

答 国の指針にない検査項目であること、全国ではがん検診と同時導入は4%の市町村であることから国の動向に注視したい。

国民健康保険の財政健全化について

問 本市の国保における医療費は4年間で9億3千万円の増加で国保財政を圧迫している。現在、行われている医療費増加の抑制策は？

答 レセプト（診療報酬明細書）点検、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の利用

用啓発、予防事業を行っている。

問 広島県呉市では、「ジェネリック医薬品使用促進通知サービス」を実施し、1年間の医療費で市の国保全体で約1億2,400万円の削減効果があつた。交野市としてこのような取り組みの考えは？

答 医師会と十分な調整を行い、承認が得られるよう検討を行っていきたい。

問 国保加入者の中で特定健診受診対象者のうち自主的に人間ドックを受けている方に対する補助はできないか。

答 疾病の早期発見、ひいては医療費の抑制の観点から補助の実施に向けて検討していきたい。

社会インフラの整備について

問 社会インフラの整備が喫緊の課題であるが、特に集中豪雨に対する対策は。

答 昨年の状況をシミュレーションにより検証し、対策メニュー案の検討を予定している。

問 ハード面の整備には相

当の予算が必要と思われるが。

答 各種の交付金、補助金等を活用して、最大限の予算確保に努め、進捗を図っていく。

活力あるまちづくりについて

問 外出支援バスについて。現状のゆうゆうバスは積み残しも増える可能性があり中途半端ではないかと感じる。市民の外出支援を後押しする地域密着型コミュニティバスのようなものを運行させてもいいのでは？

答 公共交通のあり方について総合的に調査・研究に努めたい。

市民サービスについて

要望 旅券の発給事務の実施を要望する。

要望 50cc以上のバイクでも自転車駐車場において駐車可能になるよう要望する。

その他の質問

・生活保護のケースワーカーの増員
・自転車駐車場の3ヶ月定期利用の割引

▼概要 16億3660万9千円。前年度比較で7385万7千円増。
▼結果 可決（満場一致）

議案第41号 平成25年度交野市介護保険特別会計予算
▼概要 47億820万5千円。前年度比較で4億113万1千円増。

議案第43号 平成25年度交野市後期高齢者医療特別会計予算について
▼結果 可決（満場一致）

議案第44号 平成25年度交野市水道事業会計予算
▼概要 27億815万5千円。前年度比較で6億742万2千円増。

議案第45号 平成25年度交野市下水道事業会計予算
▼概要 27億815万5千円。前年度比較で6億742万2千円増。

議案第46号 平成25年度交野市下水道事業会計予算
▼概要 27億815万5千円。前年度比較で6億742万2千円増。

議案第47号 平成25年度交野市下水道事業会計予算
▼概要 27億815万5千円。前年度比較で6億742万2千円増。

議案第48号 平成25年度交野市下水道事業会計予算
▼概要 27億815万5千円。前年度比較で6億742万2千円増。

議案第49号 平成25年度交野市下水道事業会計予算
▼概要 27億815万5千円。前年度比較で6億742万2千円増。

議案第50号 平成25年度交野市下水道事業会計予算
▼概要 27億815万5千円。前年度比較で6億742万2千円増。

予算特別委員会（3月13日～18日）

平成25年度一般会計予算を可決

議案第38号 一般会計予算

算

▼概要 一般会計予算は、歳入歳出ともに22億570万円、前年度と比較して10億9千81万7千円の増額。

▼結果 可決（賛成多数）

▼主な質疑

「Aブロック」

（総務部・地域社会部・会計室・議会事務局・行政委員会事務局の予算）

問 災害備蓄品の数を見るときに品目が多々見受けられる。実際本市で災害が起ったときに不足するようでは困る。災害備蓄品を充実させるべきと考えるが。

答 不足している物品については、今後できる限り充実に図っていききたい。また来年度から計画的に分散備蓄を図ることとしている。これは、現在備蓄している

ものを分散するのではなく、追加購入するものであり、食糧、水等の日常生活に最低限必要なものについては、計画以上に備蓄することになるものと考えている。

問 25年度は2千万円の予算で約1千灯の防犯灯をLED化し、5年間をかけ、市内すべての防犯灯のLED化を行うとのことだが、将来的に市の負担はどうなるのか。

答 設置の費用は市が負担することから、設置費用の負担はあるもののLEDは電気代が安くなることから、将来的には地域への電気代の2分の1補助の額が減少することが考えられる。また、器具の寿命が約15年といわれていることから、器具の交換に要する費用の減少が見込まれる。

「Bブロック」

（市民部、幼稚園を除く健やか部、福祉部の予算）

問 保育所障がい児保育の民間保育所助成金は、障がい児2名に対し、保育士1名の加配を原則として助成されているが、予算書案に記載のある助成額で平成25年度入所の障がい児等、環境整備を含め対応が可能か。

答 保育所入所判定委員会の判定により、障がい児1名に対し保育士1名を加配することもあるが、予算額においては実績に基づき計上していることから対応できると考える。

また、環境整備については、現時点では施設整備を必要とする園児もいないことから施設整備を助成するという考えはない。

問 妊婦検診については、本市助成額は引き上げられたものの、他市では歯科検診や増額などさらに充実しているところもあるが、本

市でもさらなる充実をする予定はあるのか。

答 本市では、まずは妊婦検診を毎回受診していただきたいという思いで、1回の検診費用の大部分を公費で賄えるよう考えて助成している。さらに超音波補助として5千円を2回補助していることから今のところ新たな検診項目としては増やす予定はない。

「Cブロック」

（環境部、都市整備部、消防本部並びに農業委員会事務局の予算）

問 新ごみ処理施設整備事業に伴う地元対策として、磐船神社などの磐船地区への給水のための給水事業測量設計業務とあるが、給水管設置予定の距離及び四條堰市との負担割合は。

答 給水の距離については、府民の森ピトンの小屋までは、水道の本管が埋設されており、そこから磐船地区まで敷設する事業につ

いて測量・設計を行うもので、今回の磐船地区への給水部分の地元対策については、各市が負担することとなっているので本市が負担する。

問 交野市内水（みず）防災検討業務委託は、昨年の大雨のシミュレーションを実施し、どういった被害軽減ができるか等を検討するとのことであるが、この結果に基づいて平成26年度に事業を実施し、また、浸水対策計画等を策定するのか。

答 平成26年度については、水（みず）防災検討業務委託の結果に基づき対策の方針決定後、事業を実施したいと考えるが、まだ結果が出ていない状況なので何ともいえない。また、計画の策定についても、今後検討していきたい。

「Dブロック」

（幼稚園にかかる健やか部、教育総務室、学校教育

教育部、並びに生涯学習推進部の予算

問 部活動における外部指導者に対し謝礼が支払われているが、遠征に同行される際の旅費は支払われているのか。

答 遠征に関しては教職員がその責務を負って引率しており、外部指導員には旅費は支払われていないのが現状である。学校からの依頼で同行いただいた場合等、旅費については今後学校とも調整しながら予算化についても検討していきたい。

問 学校図書を選定については、主に教員が行っていると考えられるが、子どもたちの声は反映されているのか。

答 学校図書を選定については、低、中、高学年の各担当教員が選定したものを司書教諭が取りまとめている。しかし、子どもたちの生の声はほとんど反映されていないのが現状であり、

今後、図書委員会等を活用し、子どもたちのニーズの把握に努められるよう校長会へ働きかけていきたい。



学校図書館

「総括」

(予算全般に関する質問)

問 指定管理者が切り替えとなり1年が経過したが、その運営状況がなかなか市民に見えてこないのが現状である。市としてどのように把握し、市民への公表をどのように行っているか。

答 年度終了後、それぞれ所管課が指定管理者より事業報告書の提出を受け、確

認及び評価を行っている。その際、よりよい管理運営に努めるべく、市民の意見も踏まえ情報公開コーナーに設置している。今後も、市民のニーズに応えるべく改善点についても協議を行い、目に見える形での公表を検討していきたい。

「討論」

反対討論 平成25年度一般会計予算案では、子宮頸がん等3ワクチンの無料化など市民にとって、安全で健

やかな環境に向けた事業が予定されており評価はするものの、一方で市民サービスや福祉の切り下げを進める第2次財政健全化計画継続の予算である。

社会保障制度の最後のセーフティネットが崩されようとしている今、市民生活が本当に大変な時であるからこそ、住民の福祉・くらしを応援し、守る自治体の役割を交野市に果たして頂くことを求め反対する。

「賛成討論」

景気が低迷し続けている中、予算編成においても財政確保に苦労が伺える。また、実質公債費比率、将来負担比率といった財政健全化判断比率においてもその厳しさが伺える。これらの状況を踏まえ、行政改革の推進により合理化・効率化を図り、各種経費を抑制する緊縮予算とする一方、限られた財源を各種施策に重点配分した予算となっている。

かつてない、財政支出のなか、的確な行政運営に努め、どこよりも豊かで明るく、安全・安心な住んでよかったと実感できるまちづくりについて、市をあげて取り組まれることを切望し、賛成する。

「賛成討論」

平成25年度一般会計において、市民の財産を守るという立場において、浸水対策等抜本的な見直しに取り組む、また、市民に見える形で、市民への姿勢が大きく現れた予算編

成であり評価をするものである。

しかし、経常収支比率をみると、厳しい状況が続いていることは明らかであることから、今後も財政基盤の確立という面において、より一層努力していただくことを望み賛成とする。

「賛成討論」

第2次財政健全化計画を実施している厳しい財政状況の中での予算であるが、別館エレベータ設置等のバリアフリー化、防犯灯LED化事業など評価すべきものがある。施政方針において「限られた予算で大きな効果を得るべく、防災・減災に備えるための安心・安全の確保と交野の魅力創出に優先配分した。」とあり、安全・安心の切れ目ない施策のスピードある実行を願う。

第2次財政健全化計画の後半に入るため、計画の進捗状況を踏まえ、中間総括及び以降の計画の検討を願う賛成する。

平成25年第1回議会定例会（2月27日～3月27日）

案 件 名		本会議結果
諮1号	人権擁護委員の推薦について	適任○
報1号	専決処分事項報告について（和解及び損害賠償の額の決定）	報告
議1号	副市長の選任について	同意○
議2号	交野市産業振興基本条例の制定について	可決○
議3号	交野市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	可決○
議4号	交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会条例の制定について	可決○
議5号	交野市障がい者（児）生活支援推進審議会条例の制定について	可決○
議6号	交野市地域生活支援事業等運営事業者選定審議会条例の制定について	可決○
議7号	交野市社会福祉法人設立認可等審議会条例の制定について	可決○
議8号	交野市地域福祉計画推進審議会条例の制定について	可決○
議9号	交野市地域密着型サービス運営審議会条例の制定について	可決○
議10号	交野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進審議会条例の制定について	可決○
議11号	交野市地域包括支援センター運営審議会条例の制定について	可決○
議12号	交野市老人ホーム入所判定審議会条例の制定について	可決○
議13号	交野市健康づくり推進委員会条例の制定について	可決○
議14号	交野市予防接種健康被害調査委員会条例の制定について	可決○
議15号	交野市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例について	可決○
議16号	交野市立図書館条例の一部を改正する条例について	可決○
議17号	交野市指定地域密着型サービス事業者の指定並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決○
議18号	交野市指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定並びに指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	可決○
議19号	交野市が管理する道路の構造の技術的基準を定める条例の制定について	可決○
議20号	交野市が管理する道路に設置する道路標識の寸法を定める条例の制定について	可決○
議21号	交野市が管理する道路に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定について	可決○
議22号	交野市が管理する都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について	可決○
議23号	交野市が管理する河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	可決○
議24号	交野市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	可決○
議25号	交野市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	可決○
議26号	交野市都市公園条例の一部を改正する条例について	可決○
議27号	交野市下水道条例の一部を改正する条例について	可決○
議28号	交野市非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決○
議29号	交野市税条例の一部を改正する条例について	可決○
議30号	交野市教育センター設置条例の一部を改正する条例について	可決○
議31号	交野市障害程度区分等認定審査会設置条例の一部を改正する条例について	可決○
議32号	交野市老人医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決○
議33号	交野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決○
議34号	交野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	可決○
議35号	交野市火災予防条例の一部を改正する条例について	可決○
議36号	平成24年度交野市一般会計補正予算（第6号）について	可決○
議37号	平成24年度交野市下水道事業特別会計補正予算（第3号）について	可決○
議38号	平成25年度交野市一般会計予算について	可決○
議39号	平成25年度交野市国民健康保険特別会計予算について	可決○
議40号	平成25年度交野市下水道事業特別会計予算について	可決○
議41号	平成25年度交野市介護保険特別会計予算について	可決○
議42号	平成25年度交野市公共用地先行取得事業特別会計予算について	可決○
議43号	平成25年度交野市後期高齢者医療特別会計予算について	可決○
議44号	平成25年度交野市水道事業会計予算について	可決○
議45号	交野市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例について	可決○
議46号	交野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決○
議員1号	予算特別委員会の設置について	可決○
議員2号	交野市住宅リフォーム助成条例の制定について	撤回を許可
議員3号	交野市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決○
議員4号	交野市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	可決○
議員5号	交野市議会会議規則の一部を改正する規則について	可決○
議員6号	少人数学級の拡充を求める意見書の提出について	可決○
議員7号	中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書の提出について	可決○
	議員の派遣について	決定

※議は議案、諮は諮問、報は報告、議員は議員提出議案です。本会議結果の○は満場一致、○は賛成多数です。

議会の傍聴にお越しく下さい
～平成25年第2回議会定例会の予定～

6月10日（月） 本会議
6月24日（月）～26日（水） 本会議（一般質問）
6月28日（金） 本会議（委員長報告・採決）